

NEWS LETTER

まい研

2022年
8月9日
第175号

まいづる市民自治研究所／まい研
〒625-0025 舞鶴市字市場 773-4 (長谷博司宅)
連絡先 090-8825-2293 FAX 0773-64-5515
E-mail maiken2005@zeus.eonet.ne.jp

◇舞鶴市財政分析勉強会◇

財政分析は、まちづくりの基本学習！

～平岡和久さん（立命館大学政策科学部教授・まい研応援会員）を講師に～

▼「まい研」では、まちづくりの基本学習としての舞鶴市財政分析勉強会の成果をまとめた基本の形として、2018年9月に発行した報告書「行け行け！まちのおさいふ探検隊－舞鶴市財政の分析－」の続編である2022年改訂版を今年9月に発行する計画です。

▼そこで8月6日(土)に西駅交流センターで、平岡和久先生(立命館大学政策科学部教授・まい研応援会員)をお招きして財政分析勉強会を開催しました。第1部として、2022年改訂版のたたき台の説明、平岡先生から「コロナ禍と地方財政：2020年度決算を中心として」と題して講演、平岡先生への質疑応答、その後第2部として、改訂版



のたたき台の議論を行いました。

▼平岡先生の講演では、コロナ禍での問題の所在として、社会保障・地方経費抑制政策のなかでの災害対応問題、惨事便乗対応の問題、災害と格差・貧困の拡大問題、さらにウクライナ危機を機に防衛費の拡大に傾斜などを語られ、新型コロナ予算からみた財政の課題も述べられました。(裏面へ続く)



【案内】

行け行け！まちのおさいふ探検隊－舞鶴市財政の分析－（2022年改訂版）
冊子づくり原案に基づいて勉強会を開催します。

冊子づくり検討会(次回)

<日時> 8月18日(木)
18時30分～19時30分

<会場> まなびあむ3F 会議室4
(東舞鶴・旧市民病院西棟)

冊子づくり検討会(最終)

<日時> 9月1日(木)
18時30分～20時30分

<会場> 勤労者福祉センター2F 洋室1
(東舞鶴・旧市民病院南棟)

報告会は9月23日(祝・金)午後開催予定！

(表面から)

▼質疑応答では、コロナ禍で多額の予算が使われているが、社会保障や地方経費の抑制として、その反動が来るのではないか、また、国と地方で1000兆円を超える借金があるが大丈夫なのか、などの質問が出されました。「建設地方債の発行が悪いわけではない」、「行財政的には財務省と総務省は緊縮予算に入っているが、政治的には選挙対策がある」、「法人税と所得税の再編、大企業の内部留保を再配分することでしか出口がないのではないか」などと議論されました。



▼改訂版のコラムは、市財政と市民生活の視点から「国の補助金」、「図書館」、「観光」、「文庫山」、「インボイス」の5本を予定し、その内容も議論しました。

舞鶴市図書館基本計画

答申書を市長に提出！舞鶴の図書館について考えよう！

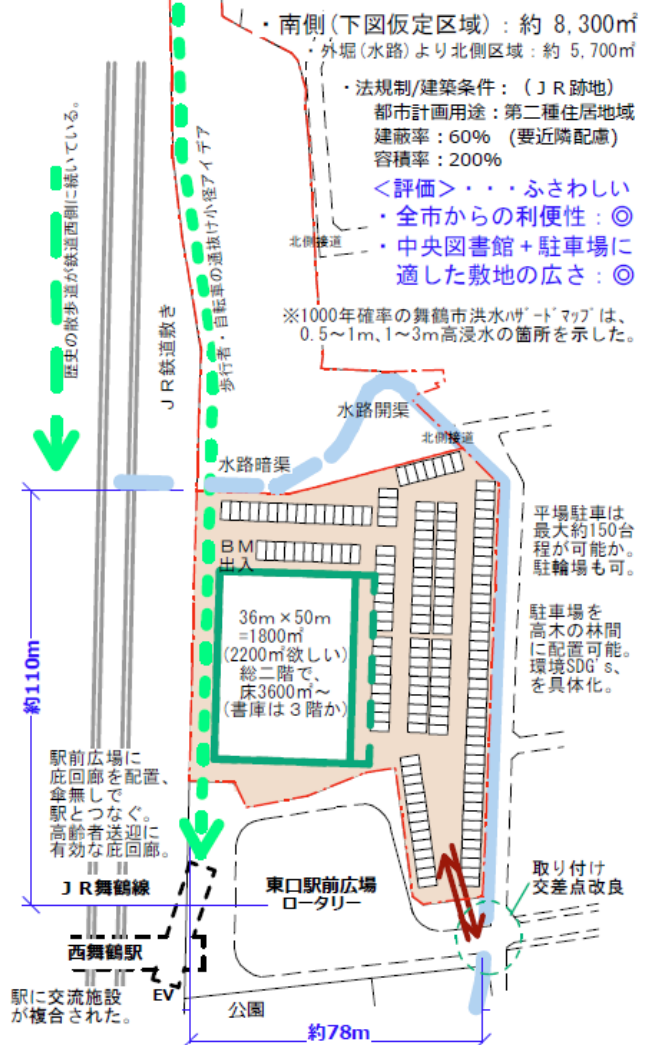
8月8日に第5回舞鶴市図書館基本計画審議会が開催され、図書館基本計画の答申書が舞鶴市長に提出されました。

答申では、新中央館は、JR西舞鶴駅東口に、総事業費約30億円で、2026年(令和8年)末に開館予定としています。また、中央館に連携した分館を5地区に設け、自動車図書館を運行するとしています。

「まい研」では、図書館計画は「まちづくり」ととらえ図書館の勉強会を開催してきました。本館となる中央館と分館との図書館システムの在り方、現在の東図書館は分館としてどうなるのか、司書の役割と配置など考える視点はたくさんあります。

「まい研」では、8月18日(木)19時30分から「まなびあむ」で、この答申などについて図書館問題勉強会を開催します。(財政分析勉強会の終了後に)

□ 西舞鶴駅/東口の市有地を候補地と考えた場合(1.4ha)



舞鶴市図書館基本計画

市民フォーラムの開催(舞鶴市主催)

<日時> 8月20日(土)13時~15時

<会場> 市政記念館(東舞鶴・市役所横)

先着100人・申し込みは東図書館 62-0190

